

# 2022年度 学校関係者評価報告書

宗教法人カトリック福岡司教区 若松天使園

1. 本園の教育目標
  1. キリスト教の精神に基づいた愛の教育
  2. モンテッソーリ教育に於ける新しい教育
  3. 家庭と園が一致した和の教育

## 2、本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

特に、感染予防、安全管理について、また、発達支援の共通理解についてを、大きな課題とした。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	教職員の一致と共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部からの通達を踏まえ、園に合う感染対策を考え実行していった。</li> <li>・支援にかかわった職員や専門家の意見を聞き、記録による気づきなどを話し合い共通理解をし、次の課題につなげていくことが出来た。</li> </ul>
2	子どもへの働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや消毒、黙食、距離を置いての食事、状況に応じてのマスクの装着を徹底した。</li> <li>・専門家のアドバイスを受ける。人的、物的環境の充実を心掛けた。</li> </ul>
3	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康チェックカード提出の徹底。又、体調不良時の欠席や早退等により、保護者との連携をとることができた。</li> <li>・支援のための話し合いの場を設け、園と家庭で共通理解をする。</li> </ul>

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

心身ともに、子どもたちの安全、安心を心に留めて、保育に活かそうと努力した。何事も報告、連絡、相談の大切さを再度確認した。今後もより良い園運営のために継続して実施していくことを共通理解した。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	園生活における怪我や事故に対する安全対策の徹底と感染対策、危険への認識、教職員の連携、協力体制を整える。
2	教職員間の協力と一致	学年、クラスに関係なく、それぞれの指導計画、子どもの様子を把握し、協力体制を更に強化する。
3	教職員の働き方	講習会参加や専門家のアドバイスを受けながら、教職員の学びの場をこれからも設け、理解を深めたり、再確認の場を維持する。

## 6. 学校関係者の評価

コロナが終息しない中で、教職員の皆さんは、マスクの自由化を打ち出され、その対応も大変なものだったので、おさしします。園式に病気のために出席できなかった人の子のために、職員、家庭、園児が協力して、後日ハートスの卒園式を欠席した園児のために挙行されたことは、当園の教育目標として、家庭と園が一致した和の教育の結果、そのものであり、素晴らしい成果だと思います。

## 7. 財務

公認会計士により適正であると認められている。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

2023年度 3月 27日